レバレッジ比率における総エクスポージャー報告書

銀行名：PT Bank JTrust Indonesia Tbk. (単体)

報告年月：2026年9月

(単位：百万ルピア)

No.	摘要	金額
1	公開財務諸表の財政状態計算書上の総資産（貸倒引当金控除前の総額）	42,425,045
2	会計基準に基づき連結されるが、金融庁（OJK）規定に基づく連結範囲外である銀行、金融機関、保険会社、および/またはその他の事業体への出資額の調整	-
3	商業銀行の資産証券化活動における健全性原則に関する金融庁（OJK）規定に定められた真正譲渡の要件を満たす資産証券化において譲渡された原金融資産プールの価値の調整	-
	該当する原金融資産が財政状態計算書の総資産から控除されている場合、この行の数値は 0（ゼロ）となる。	
4	法定準備預金要件を満たすためのインドネシア中央銀行への当座預金預入に対する一時的免除の調整（該当する場合）	N/A
5	会計基準に基づき財政状態計算書の構成要素として認識されるが、レバレッジ比率における総エクスポージャーの計算から除外される信託財産の調整	N/A
6	取引日基準の会計処理を用いた金融資産の経常的な売買額の調整	-
7	金融庁（OJK）規定に定められた要件を満たすキャッシュ・プーリング取引額の調整	-
8	デリバティブ取引のエクスポージャー額の調整	16,664
9	証券金融取引（SFT）（例：リバース・レポ取引）のエクスポージャー額の調整	-
10	信用換算率（CCF）を乗じたオフバランス取引（TRA）のエクスポージャー額の調整	191,803
11	資本控除項目および貸倒引当金（CKPN）の形での健全性評価の調整	(572,752)
12	その他の調整	0
13	**レバレッジ比率計算における総エクスポージャー**	**42,060,760**

定性的分析

2026年9月30日現在、当行のコア資本（Tier 1）は3兆3,800億ルピアである。したがって、2026年9月30日現在のレバレッジ比率は、当行の総エクスポージャーに対して8.04%である。Jトラスト銀行は、2019年12月2日付金融庁（OJK）規則第31/POJK.03/2019号に従い、OJKが定めた最低基準である3%を上回るレバレッジ比率を常に維持することにコミットしている。

レバレッジ比率計算書

銀行名：PT Bank JTrust Indonesia Tbk. (単体)

報告年月：2026年9月

（単位：百万ルピア）

	項目	期間	
		Sep-26	Jun-26
	財政状態計算書上の資産エクスポージャー		
1	担保資産を含む財政状態計算書上の資産エクスポージャー（デリバティブ取引およびSFTエクスポージャーを除く） （貸倒引当金（CKPN）控除前の総額）	42,425,045	40,095,558
2	会計基準の適用により貸借対照表上の総資産エクスポージャーを減少させた、取引相手に差し入れたデリバティブ担保の戻入額	-	-
3	（デリバティブ取引において提供された現金変動証拠金（CVM）に関連する債権の控除）	-	-
4	（資産として認識されるSFTエクスポージャーにおいて受領した有価証券の帳簿価額の調整）	-	-
5	会計基準に基づく当該資産の貸倒引当金（CKPN）	(366,621)	(315,251)
6	て算入済みの資産）	(206,131)	(207,152)
7	**（第1行から第6行までの合計）**	**41,852,293**	**39,573,154**
	デリバティブ取引エクスポージャー		
8	を含む、すべてのデリバティブ取引の再構築コスト（RC）	829	8,115
9	すべてのデリバティブ取引に対する潜在的将来エクスポージャー（PFE）の加算額	15,835	13,528
10	（中央清算機関（CCP）を通じて決済されるデリバティブ取引エクスポージャーの除外）	N/A	N/A
11	クレジット・デリバティブの有効想定元本額の調整		
12	の控除）	-	
13	**デリバティブ取引エクスポージャー合計 （第8行から第12行までの合計）**	**16,664**	**21,643**
	証券金融取引（SFT）エクスポージャー		
14	総額ベースでのSFT資産の帳簿価額	-	-
15	（現金負債と現金債権の純額）		
16	金融庁規則の付属書に規定されるカレント・エクスポージャーの計算に基づく、SFT資産に関連する取引相手の債務不履行による信用リスク		
17	SFTエージェントとしてのエクスポージャー		
18	**SFTエクスポージャー合計 （第14行から第17行までの合計）**	**-**	**-**
	オフバランス取引（TRA）エクスポージャー		
19	コミットメントまたは偶発債務の総額 貸倒引当金（CKPN）控除前の総額	191,803	350,546
20	（コミットメントまたは偶発債務の額にクレジット・コンバージョン・ファクター（CCF）を乗じた結果に対する調整後、貸倒引当金（CKPN）を控除）		
21	（会計基準に基づくTRAに対する貸倒引当金（CKPN））		
22	**オフバランス取引（TRA）エクスポージャー合計 （第19行から第21行までの合計）**	**191,803**	**350,546**
	資本および総エクスポージャー		
23	**基本的自己資本（Tier 1）**	**3,382,691**	**3,395,353**
24	**総エクスポージャー （第7行、第13行、第18行、および第22行の合計）**	**42,060,760**	**39,945,343**
	レバレッジ比率		
25	**レバレッジ比率（法定準備預金要件を満たすためのインドネシア中央銀行への当座預金預入に関する一時的免除の調整の影響を含む（該当する場合））**	**8.04%**	**8.50%**
25a	**レバレッジ比率（法定準備預金要件を満たすためのインドネシア中央銀行への当座預金預入に関する一時的免除の調整の影響を含まない（該当する場合））**		
26	**最低レバレッジ比率**	3%	3%
27	**レバレッジ比率に対するバッファー**	N/A	N/A
	平均値の開示		
28	SFT内の現金負債および現金債権と純額で計算される売却会計取引の調整後における、総額ベースでのSFT資産の帳簿価額の平均値	0	0
29	SFT内の現金負債および現金債権と純額で計算される売却会計取引の調整後における、総額ベースでのSFT資産の帳簿価額の報告四半期末残高	0	0

30	第28行に規定される総額ベースでのSFT資産の帳簿価額の平均値を含み、法定準備預金要件を満たすためのインドネシア中央銀行への当座預金預入に関する一時的免除の調整の影響を含む総エクスポージャー（該当する場合）	0	0
30a	第28行に規定される総額ベースでのSFT資産の帳簿価額の平均値を含み、法定準備預金要件を満たすためのインドネシア中央銀行への当座預金預入に関する一時的免除の調整の影響を含まない総エクスポージャー（該当する場合）	0	0
31	第28行に規定される総額ベースでのSFT資産の帳簿価額の平均値を含み、法定準備預金要件を満たすためのインドネシア中央銀行への当座預金預入に関する一時的免除の調整の影響を含むレバレッジ比率（該当する場合）	0	0
31a	第28行に規定される総額ベースでのSFT資産の帳簿価額の平均値を含み、法定準備預金要件を満たすためのインドネシア中央銀行への当座預金預入に関する一時的免除の調整の影響を含まないレバレッジ比率（該当する場合）	0	0

定性的分析

レバレッジ比率の計算に重大な影響を与える主な要因は当行のコア資本（Tier 1）的自己資本であり、当行は保有する総エクスポージャーに対して資本を維持する必要があります。2026年9月30日現在の基本的自己資本は3兆3,800億ルピアであり、2026年6月30日時点と比較して126億6,000万ルピア減少しました。一方、当行の総エクスポージャーは2兆1,200億ルピア増加したため、2026年9月30日現在の当行のレバレッジ比率は8.04%となりました（前四半期と比較して46bpsの低下）。